2025 年度環境保全報告書

グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社
神戸工場

①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

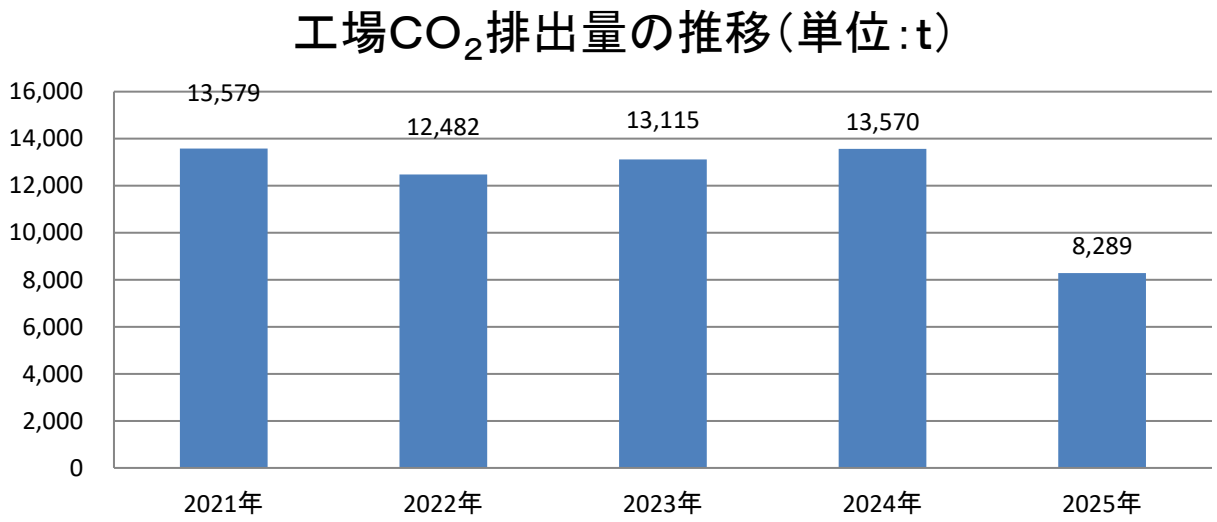
ＣＯ$_2$について、電力の省エネルギー、生産ラインの安定化などを通じて、排出量の削減、排出原単位の低減に努めています。当社ではＣＯ$_2$削減、2025 年度利計年間電力使用量＋利計年間ガス使用量から算出したＣＯ$_2$排出予定量の１％削減を目標に取り組み、2025 年度は目標を達成することが出来ました。

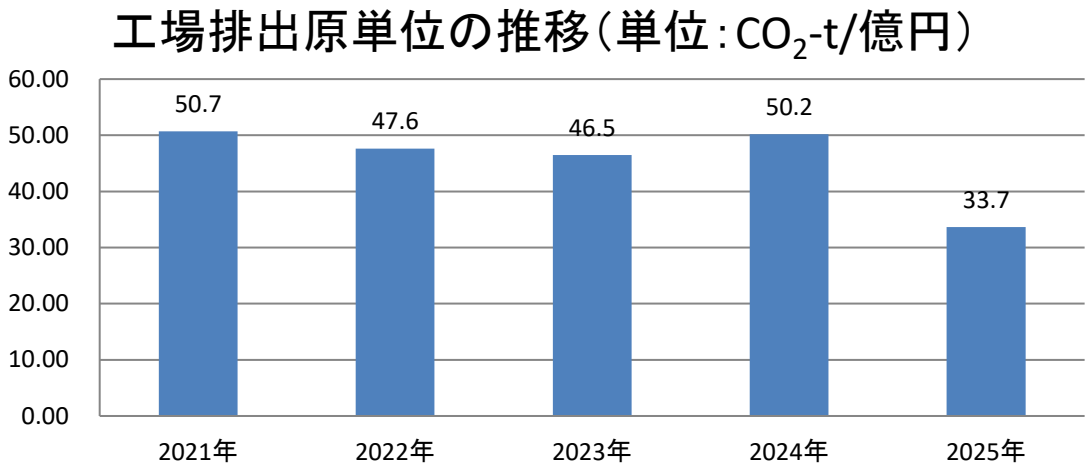
達成要因として工場全体で取組んだ省エネパトロール、エネルギーの見える化取組実施・改善対策を行った事が大きな成果に繋がったと考えます。

また、2025 年７月よりグリーン電力（ＣＯ$_2$フリー電力）の導入を行っております。

工場ＣＯ$_2$排出状況

項目		2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
生産金額	（億円）	267.9	262.1	282.3	270.4	246.3
工場ＣＯ$_2$排出量	電力購入（t-C02）	5,686	4,466	5,802	5,894	1,293
	都市ガス（t-C02）	7,892	8,016	7,313	7,677	6,996
	合　計（ｔ－Ｃ０２）	13,578	12,482	13,115	13,570	8,289
工場排出原単位(t-C02/億円)		50.7	47.6	46.5	50.2	33.7





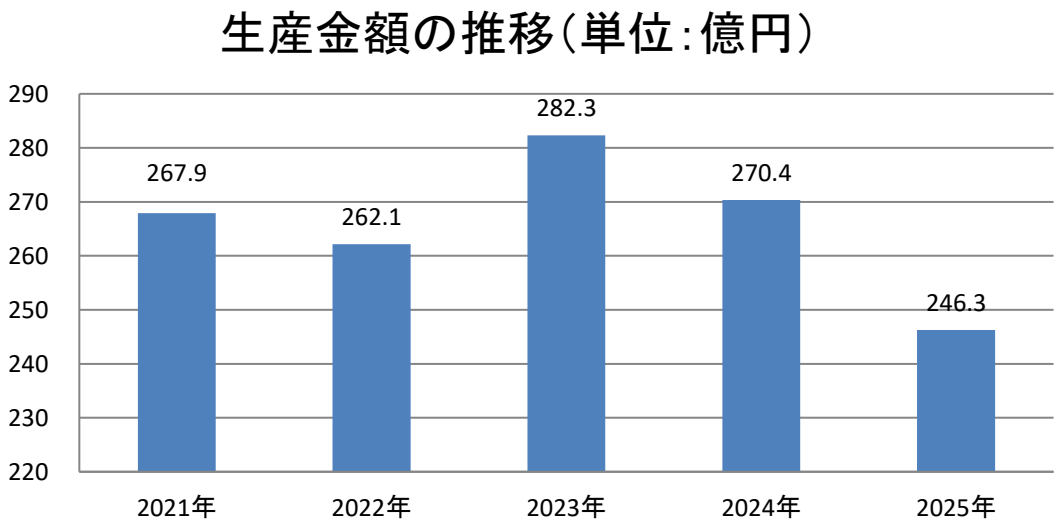
イ. 省エネルギーの推進

2025 年度のエネルギー総使用量は前年度と比較して生産量減少の影響にて減少しましたが、電力については省エネ活動の推進効果により改善が見られました。

今後も引き続き省エネ活動を推進してきます。

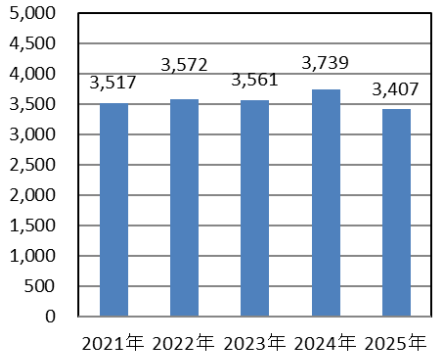
●エネルギー使用量・原単位

		2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
生産金額	(億円)	267. 9	262. 1	282. 3	270. 4	246. 3
ガ ス	総量 (m3)	3, 517, 109	3, 572, 115	3, 561, 478	3, 738, 651	3, 406, 975
	原単位(m3/億円)	13, 127. 3	13, 626. 7	12, 616. 2	13, 828. 7	13, 833. 4
電 力	総量 (千kWh)	14, 931	14, 348	13, 368	14, 065	12, 183
	原単位 (kwh/億円)	55, 729. 7	54, 732. 9	47, 355. 8	52, 022. 7	49, 467. 7
用 水	総量 (m3)	79, 225	79, 783	77, 519	69, 213	63, 439
	原単位 (m3/億円)	295. 7	304. 4	274. 6	256. 0	257. 6

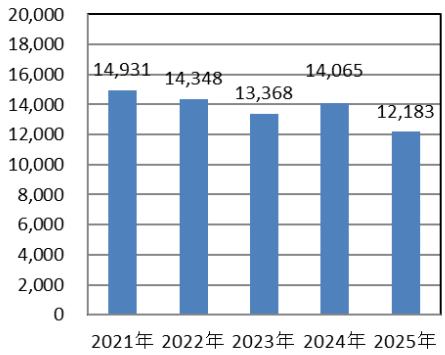


使用量推移

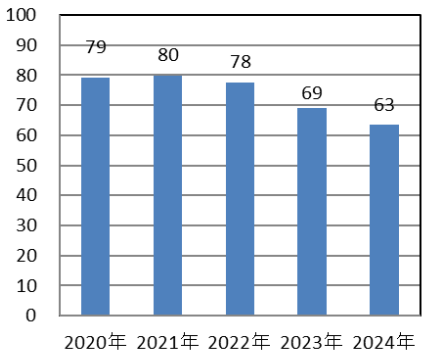
ガス使用量推移（単位：千㎥）



買電力量推移（単位：千kWh）

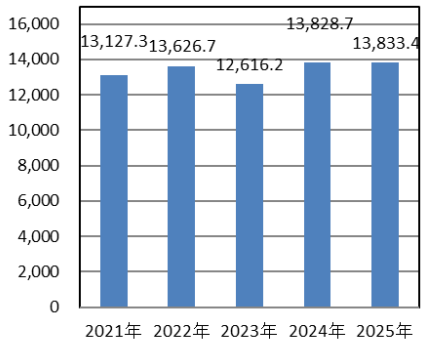


用水使用量推移（単位：千㎥）

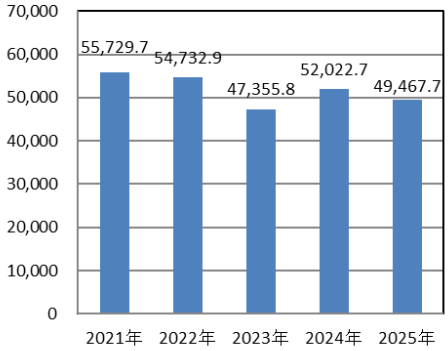


原単位推移

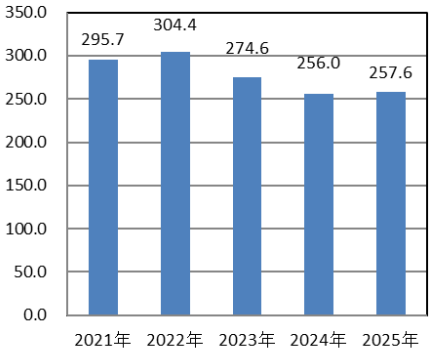
ガス原単位推移（単位：㎥/億円）



買電力原単位推移（単位：kWh/億円）



用水原単位推移（単位：㎥/億円）



②公害防止対策に係る報告

ア．目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙の排出規制の遵守	窒素酸化物、ばいじん濃度ともに前年度と同程度である。規制値範囲内であり、問題無し。	◆排ガス処理施設の適切な維持管理に努めるとともに、「排ガス中のばい煙濃度等測定計画」により、目標値の遵守状況を確認した。
水質汚濁防止対策	公共用水域の環境保全	ノルマルヘキサン（動植物油脂類）の一時的な自主基準値超過が発生 自主基準：100mg/L 以下 測定数値：140mg/L	◆一時的な自主基準逸脱があった為、現場パトロール及び現場作業者にヒアリング実施。⇒問題無し 洗浄ルールの案内発信 水質の採水分析を再度依頼⇒測定数値：30mg/L
騒音防止対策	法令等の基準の遵守	敷地境界線に於ける騒音の指示値が法規制の基準内であることが確認できた。	「騒音規制法」「兵庫県環境の保全と創造に関する条例」「神戸市民の環境を守る条例」の規制基準値の遵守状況を確認した。
悪臭防止対策	法令等の基準の遵守	臭気測定を行い、基準値内であることを確認した。	臭気測定を行い、基準値の順守状況を確認した。
産業廃棄物対策	法令等の規制を遵守	法令に定める産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守できた。	「電子マニフェスト」「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」により、遵守状況を確認した。
	廃棄物の発生抑制・再利用	産業廃棄物排出総量としては 2024 年度に対し、22.8％減少した。	2025 年度は発生汚泥の減容化取組により廃棄汚泥量を削減した。

イ．2025 年度　窒素酸化物濃度･ばいじん濃度の測定結果

	測定項目	単位	規制値	測定結果	全測定回数	法令基準達成判定
ガスタービン	ダスト濃度	g/m3N	0.20	0.005 未満	2 回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	110/140	2 回/年	○
ガスタービン	ダスト濃度	g/m3N	0.20	0.005 未満	2 回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	180	110/42	2 回/年	○
ガスエンジン	ダスト濃度	g/m3N	0.05	0.005 未満	2 回/年	○
	窒素酸化物濃度	volppm	600	190/240	2 回/年	○
ボイラー	ＮＯx	ppm	150	35	1 回/年	○

ウ．2025 年度　排出水の汚濁状態測定結果

排水口 1 カ所

項　目			管理目標値	法令基準	測定値 最大（ｐＨのみ最少～最大）	測定値 平均	全測定回数	目標値を超過した測定回数	目標達成判定	法令基準達成判定
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度（ｐＨ）	5.8～8.2	5 を超え 9 未満	6.2～7.6	7.0	12	0	○	○
	2	生物的酸素要求量（ＢＯＤ）	1,000mg/L 以下	2,000mg/L 以下	600	439	12	0	○	○
	3	浮遊物物質（ＳＳ）	1,000mg/L 以下	2,000mg/L 以下	160	75	12	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質	100mg/L 以下	150mg/L 以下	140	36.3	12	1	×	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質（鉱物油）	5 mg/L 以下	5 mg/L 以下	2 未満	2 未満	12	0	○	○

単位はｐＨを除き、ｍｇ／ℓ　　ＮＤ：定量下限値以下　　○　達成　×　未達成

エ．2025 年度　敷地境界線上の臭気測定計画

測定箇所	規制基準	測定値（最小～最大）	測定回数	法令基準達成判定
敷地境界 6 か所	臭気指数 18	10 未満	1 回	○

③地球温暖化対策に係る報告

ア．今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量（MJ）	排出係数	排出量	温暖化係数	合計（CO_2換算）
					kg-CO_2/MJ	kg－CO_2	CO_2	
燃料の使用	原料炭	－	kg	28.9	－	－	1	－
	一般炭	－	kg	26.6	－	－	1	－
	A 重油	－	ℓ	39.1	－	－	1	－
	B 重油	－	ℓ	40.4	－	－	1	－
	C 重油	－	ℓ	41.7	－	－	1	－
	LPG	－	kg	50.2	－	－	1	－
	都市ガス	3,406,975	Nm^3	40.0	0.0513	6,995,655	1	6,995,655
	その他（廃棄物等）	－	kg	42.3	－	－	1	－
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	2,646,280	kWh	－	0.484	1,280,800	1	1,280,800
	一般電気事業者	9,512,376	kWh	－	0	0	1	0
	その他事業者	24,575	kWh	－	0.501	12,312	1	12,312
熱供給事業者から供給された熱の利用	－	－	MJ	－	－	－	1	－
合計	－	15,590,206	－	－	－	8,288,767	－	8,288,767

イ．当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率（%）	
	今年度	2030 年度	基準年度（2013 年度）	今年度	今年度	2030 年度
二酸化炭素	13,450,252	8,000,000	18,117,712	8,288,767	△54.3	△55.8
メタン	－	－	－	－	－	－
一酸化二窒素	－	－	－	－	－	－
HFC	－	－	－	－	－	－
PFC	－	－	－	－	－	－
六フッ化硫黄	－	－	－	－	－	－
合計	13,450,252	8,000,000	18,117,712	8,288,767	△54.3	△55.8

ウ．目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

分野	具体的対策	削減目標	実施状況
エネルギーの使用の合理化	「生産ライン安定化」取組みによる廃棄物の削減	2025 年度利計年間電力使用量＋利計年間ガス使用量から算出した CO2 排出予定量の１％削減	達成
	（蒸気・エアー・水）漏れ箇所調査と修理対応		
	エネルギーの見える化取組、改善実施		
	空調設備（熱交換器）の定期洗浄、点検、清掃の実施		
	無人時の事務所、会議室、不使用設備周辺の消灯推進		
	建屋折半屋根断熱シートの推進		
	高効率機器への更新（パッケージクーラー、空調機、ポンプ）を推進		
	コージェネレーションシステム適正稼働		
	フロン機器（R22）の削減		

④公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
	再生可能エネルギー導入の推進	グリーン電力の購入	―	導入	2025年7月より運用開始
1	事業所等での節水	節水の呼びかけ 漏水等の早期発見	―	周知徹底	実施
2	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別回収	―	周知徹底	実施
		コピー用紙使用枚数削減継続監視	―	周知徹底	実施
		原材料ロス削減	ロス削減	原材料ロス率 目標達成	達成
3	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具	９０％	９０．３％
		ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾅｰｶｰﾄﾘｯｼﾞの再生利用	―	１００％	１００％
4	自動車対策	ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ・ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯﾌﾟの推進	―	徹底	概ね実施
		社有車、送迎ﾊﾞｽ性能維持の為の定期的な点検整備	―	徹底	概ね実施
		廃棄物回収車両の適正整備要請	―	該当業者	概ね実施
5	特定フロン等使用量の削減	設備更新時,特定フロン非使用設備を導入	―	全量	老朽更新、新設時に特定フロン非使用設備を導入
		特定フロン使用機器の適正廃棄	―	フロン回収の徹底	実施率100%
6	従業員教育	環境保全に関する従業員教育	―	1回/年	実施
		環境に係る各種教育、講習等の受講、実施、展示会の見学	―	周知徹底	概ね実施
7	地域社会への参画	神戸こどもエコチャレンジ２１イベントへの参加	―	1回/年	達成
8	環境管理システムの充実	ＩＳＯ１４００１の運用管理	―	継続	継続中
		内部監査の実施	―	1回／年	実施
9	プラスチックに係る資源環境等の推進	廃棄されていた樹脂パレット及び樹脂シートパレット、樹脂コンテナをリサイクル	―	100%リサイクル	100%